

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和2年1月30日

三田市議会議長 福田秀章 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

|                     |   |     |   |
|---------------------|---|-----|---|
| 会 派 名               | 市民の会  | 代表者 | 印 |
|                     |   | 議員名 |   |
| 派遣者氏名               |   |     |   |
| 視察先及び調査事項<br>(調査目的) | 徳島県 名西郡神山町神領字中津 132 番地<br>神山町農村環境改善センター内 NPO 法人グリーンバレー<br>徳島県徳島市幸町 2-5 : 徳島市役所<br>徳島県阿南市富岡町トノ町 1 2-3 : 阿南市役所  |     |   |
| 日 時                 | 令和2年1月21日(火)～令和2年1月23日(木)   |     |   |
| 視察先対応者              | ・ 神山町 NPO 法人グリーンバレー<br>株式会社プラットイーズ 取締役会長 隅田 徹 氏<br>認定特定非営利活動法人グリーンバレー 移住交流支援センター 伊藤友宏 氏<br>・ 徳島市<br>徳島市議会事務局 扶川 康文 局長<br>徳島市保健福祉部 保健センター 田村 茂生 所長<br>同上 森 史子 所長補佐<br>・ 阿南市<br>阿南市議会 藤本 圭 産業常任委員会委員長<br>阿南市議会事務局 三河 恭普 議事課長補佐<br>阿南市産業部 橘 敬治 野球のまち推進課課長<br>同上 篠原 正重 野球のまち推進課課長補佐 |     |   |

|      |   |
|------|---|
| 調査日時 | 令和2年1月21日(火) 午前14時00分～15時30分  |
| 視察先  | 徳島県名西郡神山町神嶺字中津132 神山町農村環境改善センター内<br>NPO 法人グリーンバレー   |
| 調査事項 | <p>◎サテライトレクチャー</p> <p>今や「地方創生の聖地」とも言われる「神山町」について、何がどう変わったのかを調査した。</p> <p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>サテライトレクチャー ～仕事も地域も暮らしのため～</p> <p style="text-align: center;">株式会社プラットイーズ 取締役会長 隅田徹氏</p> <p>神山町は徳島の「まんなか」に位置する。人口は5,200人 名産はスタチ</p> <p>1955年に5つの村が合併し、人口2万人の町としてスタートしたが、年を追うことに人口が流出し、当初の約4分の1にまで減少した。</p> <p>2005年9月に町内全域に光ファイバーが敷設されたことを契機として、今や東京や大阪のITベンチャーも新たな働き方を模索して、サテライトオフィスが16社も開いている。そしてプログラマーやクリエイターが働いている。</p> <p>また、アーティスト・イン・レジデンスや起業・創業支援の神山塾等若者を呼び寄せる施策により、多くの若者が移住している。現在も「ものづくり」「教育」「飲食」等の多くの分野でプロジェクトが同時平行的に進められている。</p> <p>(所見)</p> <p>光ファイバーの町内全域敷設は一つの契機になっているが、働き方の選択肢を増やすことや、違いを楽しむといったコンセプトが若者に受入られているのではないかと思う。</p> <p>隅田氏のこの地域の最大の良さは「緩い」こととの言葉が印象に残った。外部からの進出を受入、違いを楽しみながら、自分にあった仕事を自分のペースで働く「緩さ」が最大の神山町の魅力なのではと感じた。それを可能にしているのが民間の力ではと思う。</p> <p>(添付資料) 説明資料(写)</p> <p>(注)</p> |

調査日時 令和2年1月22日(水)午前10時00分～11時30分

視察先 徳島県徳島市幸町2-5 徳島市役所

調査事項 ◎「とくしま えがお21」

(調査結果の概要及び所見)

調査結果については美藤議員報告書を参照

(所見)

徳島市は令和元年度高齢化比率は28.8%で市域を4つに分けて南西部が31.3%西部が30.2%と高くなっている。健康づくりに対する市民の関心は地域によって違いがある。社会参加の仕方についても、個々の繋がりが多様であり地域としてまとまるのが困難なところもあり、市として、どう支援していくのが課題である。

健康事業としては、6つの基本方針を策定されており、

重症化予防の推進では、対象疾患に対象条件を設定してアプローチをされている。家庭訪問や電話等による保健指導にて実績をあげられている。

また、「毎日、プラス100g～野菜で生活習慣病を予防～」をテーマに野菜摂取の啓発を行う等の適切な栄養・食生活の推進にも重点をおかれていた。

その他にも発症予防の推進、日常的な運動習慣の推進、歯・口腔の健康推進、禁煙の推進計画を策定され取り組まれている。

高齢化が進む中で健康づくりは大切な施策である。保健指導では連絡のつかない対象者にアポなしで家庭訪問をされたり、夏休み期間には小学生とその保護者を対象とした食育講座を開催されるなど、健康づくりに積極的に取り組まれていた。

(添付資料)

美藤議員報告書参照

調査日時 令和2年1月23日(木) 午前10時00分～11時30分

視察先 徳島県阿南市富岡町トノ町12-3 阿南市役所

調査事項 ◎「野球のまち推進課」

(調査結果の概要及び所見)

調査結果については佐々木議員報告書参照

(所見)

元々、野球熱の熱い地域性を活かし、さらに地域の特性に合わせて、草野球に焦点を当てて推進し、そして経済効果も上げているのは立派である。

多くの大会や大学・社会人野球の合宿誘致にも積極的に取り組まれている。また、審判員・放送員・記録員の養成にも力を入れられて、リピート率の向上に努められている。

本市にも、グラウンドは多くあり、また、大阪・神戸からも近い地の利も生かせることからしても、大いに参考となる取組だと思う。

(添付資料)

添付資料は佐々木議員報告書参照